

電話で予約バス・Kタク利用者アンケートのお願い(案)

日頃は、可児市の公共交通政策にご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

可児市には、鉄道としてJR太多線、名鉄広見線、バスは東濃鉄道(株)の路線バス、高速バス、可児市コミュニティバス(さつきバス、電話で予約バス、Kタク、Kバス)、八百津町、御嵩町との3市町共同運行のYAOバス、各社のタクシー事業など、様々な公共交通が運行されております。

現在のバスの利用実態やバスの満足度や改善に向けたアイデアなど、バスサービスのより良い利用環境を創出する上で必要となる基礎指標を把握することを目的として、アンケートを実施させていただくこととしました。

アンケートは、電話で予約バス及びKタクの利用者を対象に実施させていただきます。

ご多忙のところ誠にご面倒とは存じますが、アンケート実施の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

平成 29年 10月

可児市長 富田 成輝

＜アンケート調査票ご記入に当たっての注意事項＞

1. ご回答は、設問ごとに該当する番号に○をつけるか、必要事項をご記入ください。
2. ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、○月○日(○)までにお近くのポストに投函してください。
3. ご回答いただいた結果は、統計的に処理し、本調査の目的以外には使用しません。

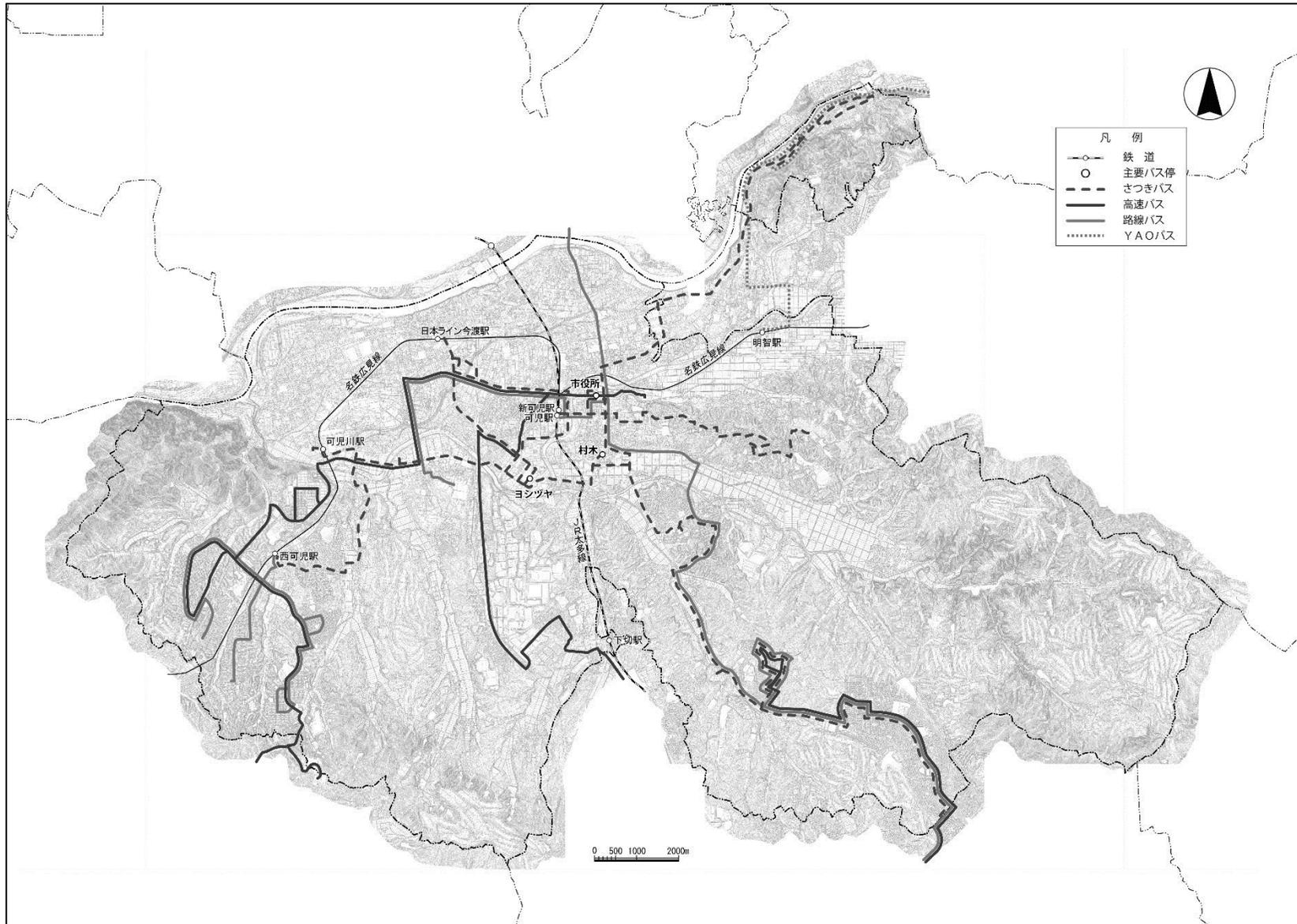
【アンケートに関するお問い合わせ】

可児市 建設部 都市計画課 公共交通係 (0574—62—1111 (内線 2305))

<可児市内の公共交通>

現在、可児市内にはJR太多線、名鉄広見線（新可児駅～犬山駅間）、名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）、東鉄バス、YAOバス、さつきバス、電話で予約バス、Kタク、Kバス、タクシーといった様々な公共交通が運行しています。

図 可児市内の公共交通路線図（平成 29 年 10 月現在）



※可児市内には、上記路線図に掲載されている鉄道とバス路線の他に、「電話で予約バス」「Kタク」「Kバス」が運行しています。

電話で予約バス・Kタク利用者アンケート票

アンケートを受け取った当日の

「電話で予約バス」・「Kタク」の利用 についてお尋ねします。

※アンケートを複数受け取った方は、最初に受け取ったバスについてお答えください。

問1 このアンケートを、どの地区の「電話で予約バス」及び「Kタク」で受け取りましたか。

※あてはまるもの1つに○をつけてください。

電
話
で
予
約
バ
ス

1. 今渡・川合・土田地区
2. 羽崎・二野・久々利地区
3. 春里・姫治地区
4. 帷子地区
5. 大森地区
6. 広見東・中恵土地区
7. 下恵土・広見地区

K
タ
ク

8. 今渡・川合・土田地区
9. 羽崎・二野・久々利地区（広眺ヶ丘、羽生ヶ丘、緑ヶ丘地区を含む）
10. 春里・姫治地区（若葉台地区を含む）
11. 帷子地区
12. 大森地区（桜ヶ丘ハイツ地区を含む）
13. 広見東・中恵土地区
14. 下恵土・広見地区

問2 アンケートを受け取ったバスに乗車した日時と、乗車したバス停を教えてください。

※日付を記入し、午前・午後のどちらかに○をつけ、時刻をご記入ください。

10月

日

午前・午後

時頃

※乗車したバス停名をご記入ください。

乗車バス停名

問3 アンケートを受け取ったバスを降りたバス停と、最終目的地を教えてください。

※降車したバス停名と、最終目的地をご記入ください。

降車バス停名

最終目的地

問4 アンケートを受け取ったバスの利用目的を教えてください。

※あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 通勤 2. 通学 3. 通院・検診 4. 買物 5. 飲食・娯楽
6. 業務 7. その他 (_____)

問5 アンケートを受け取ったバスのバス停までの交通手段を教えてください。

※あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 (家族等の送迎含む)
4. その他 (_____)

問6 アンケートを受け取ったバスから他の交通機関へ乗り継ぎましたか。

または、他の交通機関からアンケートを受け取ったバスへ乗り継ぎましたか。

※乗り継がれた交通機関すべてに○をつけ、必須事項をご記入ください。

1. 乗り継いでいない 2. JR 太多線
3. 名鉄広見線 (新可児駅～御嵩駅間) 4. 名鉄広見線 (新可児駅～犬山駅間)
5. 東鉄バス 線 6. YAOバス
7. さつきバス 線 8. 電話で予約バス 地区
9. Kタク 地区 10. Kバス
11. その他 (_____)

問7 アンケートを受け取ったバスは、どの程度の頻度で利用されますか。

※あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 年に数日程度 2. 月に1日程度 3. 月に2～3日程度
4. 週に1～2日程度 5. 週に3～4日程度 6. 平日はほぼ毎日
7. その他 (_____)

問8 アンケートを受け取った当日は「行き」、「帰り」と往復で同じバスを利用しましたか。

※あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 行きのみ利用⇒**問9**へ

2. 帰りのみ利用⇒**問9**へ

3. 往復で利用⇒次ページの**問11**へ

問9 「行き」または「帰り」のみ利用した方にお尋ねします。

アンケートを受け取ったバスの代わりに利用した交通手段を教えてください。

※あてはまるもの1つに○をつけ、必要事項をご記入ください。

1. 自動車（家族等の送迎含む）

2. タクシー

3. JR 太多線

4. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩間駅）

5. 名鉄広見線（新可児駅～犬山間駅）

6. 東鉄バス 線

7. さつきバス 線

8. Kバス

9. 徒歩

10. その他（）

問10 往復でアンケートを受け取ったバスを利用しなかった理由を教えてください。

※あてはまるもの1つに○をつけ、必要事項をご記入ください。

1. 「行き」または「帰り」に利用したい時間帯に「電話で予約バス」が走っていないため

⇒アンケートを受け取ったバスを利用したい時間帯を教えてください。

午前・午後 _____時_____分頃

2. 予約が面倒だから

3. 予約ができなかったから

4. バスで行こうと思えば行けるが、目的地まで時間がかかるため

5. 行きたい方向にバスが走っていないため

6. 他の交通手段の方が便利だから

7. 家族が送迎してくれるため

8. その他（）

「電話で予約バス」、「Kタク」の満足度と改善内容についてお尋ねします。

問 11 アンケートを受け取ったバスに関する以下の項目について、「どの程度満足しているか」を5段階で評価してください。
 また、「やや不満」又は「不満」と回答された項目については、具体的な改善内容があれば右のページにご記入ください。

		満 足 度					判 断 で き な い
		満 足	や や 満 足	普 通	や や 不 満	不 満	
例：⑥ 運行時間帯（8時～17時まで運行）		5	4	3	②	1	0
バスサービスについて	① 予約の方法（30分前までに電話またはFAXで予約する必要があることなど）	5	4	3	2	1	0
	② 予約のあったバス停のみを経由して走行することについて	5	4	3	2	1	0
	③ 運行区域	5	4	3	2	1	0
	④ 運行日	5	4	3	2	1	0
	⑤ 運行便数（1日9便 1時間に1便）	5	4	3	2	1	0
	⑥ 運行時間帯（8時～17時まで運行）	5	4	3	2	1	0
	⑦ 目的地までの所要時間	5	4	3	2	1	0
	⑧ 運賃	5	4	3	2	1	0
	⑨ バス停（場所）のわかりやすさ	5	4	3	2	1	0
	⑩ 自宅から最寄りバス停までの距離	5	4	3	2	1	0
	⑪ 降車バス停から目的地・施設までの距離	5	4	3	2	1	0
	⑫ バス停の待合環境（屋根やベンチの設置状況など）	5	4	3	2	1	0
	⑬ 利用するために事前予約が必要なことについて	5	4	3	2	1	0
	⑭ 行くことのできる施設	5	4	3	2	1	0
	⑮ パンフレットの見やすさ、わかりやすさ	5	4	3	2	1	0
	⑯ 運転手の対応	5	4	3	2	1	0
乗り継ぎについて	⑰ 乗り継ぎの際の待ち時間	5	4	3	2	1	0
	⑱ 乗り継ぎの情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ	5	4	3	2	1	0
	⑲ 乗り継ぎをする際の移動距離	5	4	3	2	1	0
	⑳ 乗り継ぐバス停の待合環境（屋根やベンチの設置状況）	5	4	3	2	1	0

満足度において「やや不満」「不満」と回答された項目に関する具体的な改善内容をご記入ください。

⑥ (目的 通勤先からの帰宅) のため (1 8) 時台に運行してほしい

①

②

③ () 地区に運行してほしい

④ (曜日など) に運行してほしい

⑤

⑥ (目的) のため () 時台に運行してほしい

⑦

⑧ 1乗車 () 円にしてほしい

⑨ (バス停名) バス停の場所がわかりにくい

⑩

⑪ (バス停名) バス停から (施設名) までが遠い

⑫ (バス停名) バス停に () を整備してほしい

⑬

⑭ (施設名) に運行してほしい

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲ (バス停名) バス停から () バス停(駅)までが遠い

⑳ (バス停名) バス停に () を設置してほしい

問 12 問 11 の①～⑳の項目について、どの項目が重要だと思いますか。重要だと思う項目として該当する番号に3つまで○をつけてください。

※あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------------------|-------------------------------|---------|----------|
| 1. 予約方法 | 2. 予約のあったバス停のみを經由して走行することについて | | |
| 3. 運行区域 | 4. 運行日 | 5. 運行便数 | 6. 運行時間帯 |
| 7. 目的地までの所要時間 | 8. 運賃 | | |
| 9. バス停のわかりやすさ | 10. 自宅から最寄りバス停までの距離 | | |
| 11. 降車バス停から目的地・施設までの距離 | 12. バス停の待合環境 | | |
| 13. 利用するために事前予約が必要なことについて | 14. 行くことのできる施設 | | |
| 15. パンフレットの見やすさ、わかりやすさ | 16. 運転手の対応 | | |
| 17. 乗り継ぎの際の待ち時間 | 18. 乗り継ぎの情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ | | |
| 19. 乗り継ぎをする際の移動距離 | 20. 乗り継ぐバス停の待合環境 | | |

問 13 現在の可児市内の公共交通は利用しやすく満足できる交通手段だと思いますか。市内の公共交通全体に対するあなたの考えを教えてください。

※あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|--------------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満 | 5. 不満 | |

公共交通の維持についてお尋ねします。

平成 28 年度において、可児市内で運行する路線バス、Y A Oバス、可児市コミュニティバス（さつきバス、電話で予約バス、Kタク、Kバス）を確保、維持するにあたり、可児市の予算（皆さんの税金）から 1 億 684 万円を支出しており、市民一人あたりの年間負担額は約 1,053 円となっています。

参考として、平成 28 年度の市道の新設・改良費には市民一人あたり約 14,284 円の負担、市道の維持・修繕費は約 3,492 円の負担、公園の維持・改修費は約 1,534 円の負担となっています。

問 14 可児市の公共交通を確保・維持するために必要な費用負担のあり方について、あなたの考えを教えてください。

※あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 運行本数の増加など、今以上の利便性を高めるため、市の負担額を増やすべき
2. 運行本数の増加など、利便性の向上は必要だが、利用者負担（運賃）の増加により対応すべき
3. 現在のサービス水準を維持するため、市の負担額は現状程度で良い
4. 運行本数の減便など、サービス水準を低下させ、市の負担額を減らすべき
5. その他（具体的に _____）

問 15 可児市の公共交通を確保・維持するために、あなたや地域が協働・連携して取り組める内容を教えてください。

※あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 公共交通を積極的に利用する
2. 地域で公共交通を活用したイベントを実施する
3. 地域住民で協賛金（募金など）を募り、収入を増やす
4. 地域企業の協賛金や広告費などを募り、収入を増やす
5. 地域で公共交通について話し合う場や組織を設置する
6. 地域が主体となり、地域特性やニーズに応じた新たな公共交通を運行する
7. その他（ _____ ）

あなた自身のことについてお尋ねします。

問 16 ※各設問について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

① 性別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性
② 年齢 (1つに○)	1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60~64歳 7. 75~69歳 8. 70~74歳 9. 75歳以上
③ 職業 (1つに○)	1. 会社員・公務員 2. 自営業・自由業 3. パート・アルバイト 4. 専業主婦（主夫） 5. 学生 6. 無職・その他
④ お住まいの地区 (1つに○)	1. 久々利地区 2. 平牧地区 3. 中恵土地区 4. 広見東地区 5. 広見地区 6. 姫治地区 7. 川合地区 8. 今渡地区 9. 下恵土地区 10. 土田地区 11. 春里地区 12. 帷子地区 13. 桜ヶ丘地区 14. 兼山地区
⑤ 自動車の利用状況 (1つに○)	1. 自分で自動車をよく運転している 2. 家族等が送迎する自動車をよく利用している 3. 自動車を利用することはあまりない 4. 自動車を利用しない

公共交通に対する考えやアイデアについてお尋ねします。

問 17 こんなバスがあったら便利！ こんなイベントを行えば公共交通の利用が増える！など、公共交通の利便性を高めるアイデアを自由に記入してください。

<自由意見欄> (記入例) 休日は、〇〇〇に行けるバスを運行して欲しい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。このアンケート調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、〇月〇日（〇）までにお近くのポストに投函してください。